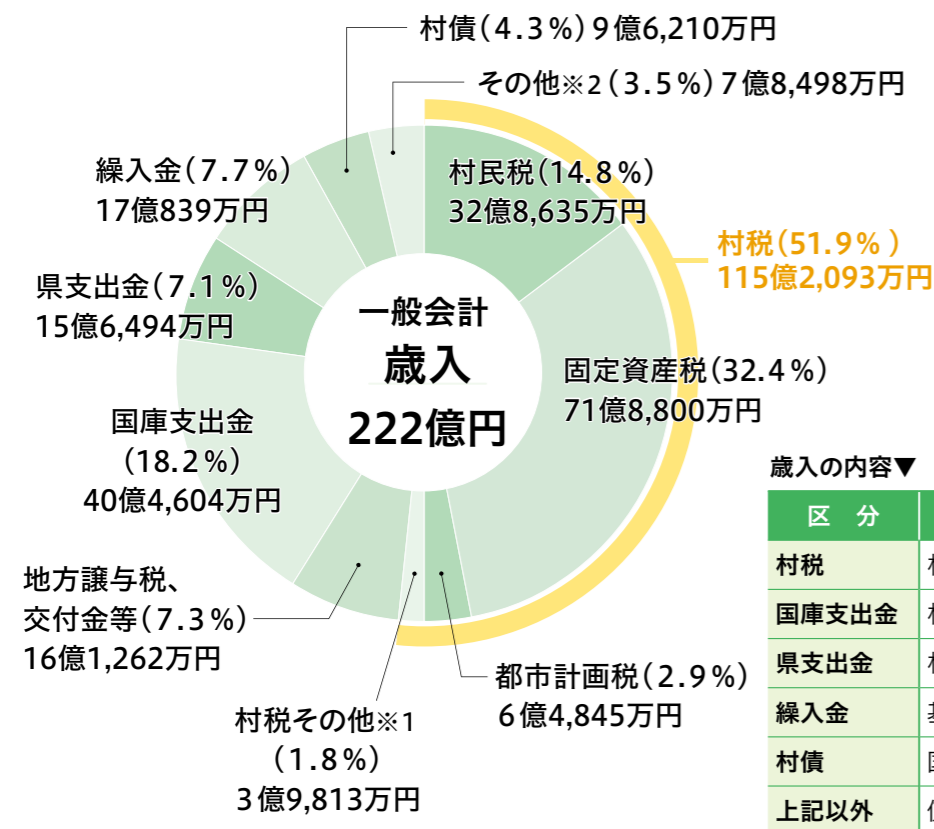
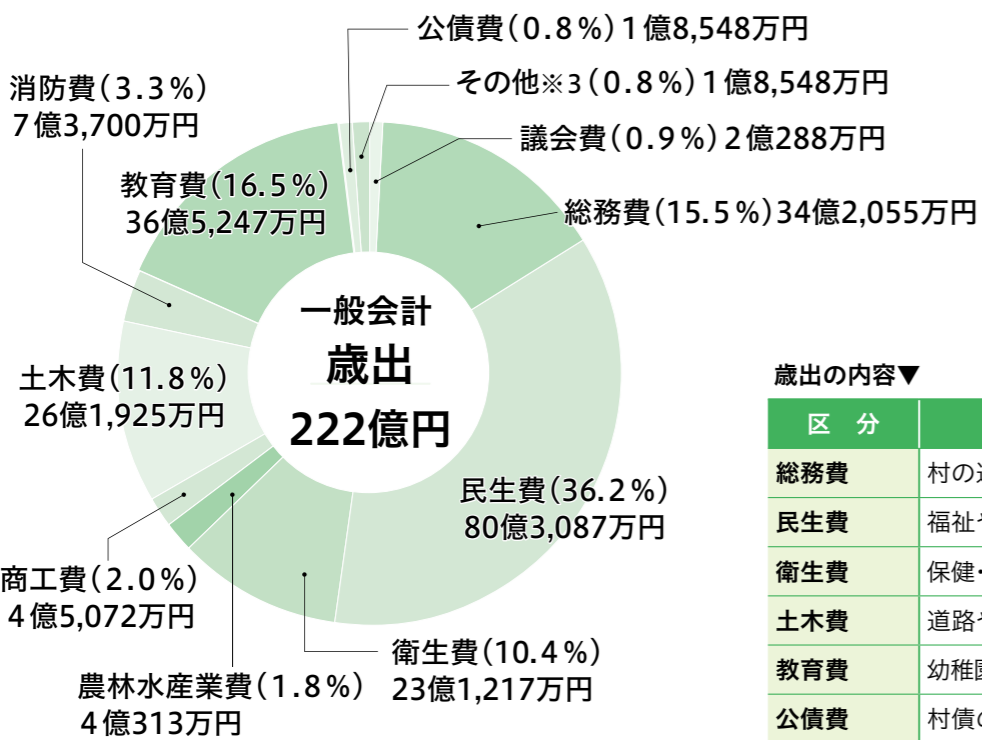


一般会計予算の内訳は？



歳入の内容▼

区分	主な内容
村税	村民税や固定資産税、都市計画税等の税金
国庫支出金	村の特定の事業に対し国から交付されるお金
県支出金	村の特定の事業に対し県から交付されるお金
繰入金	基金や他会計から一般会計に移すお金
村債	国や銀行等からの借入金
上記以外	使用料や手数料、交付金、繰越金等



歳出の内容▼

区分	主な内容
総務費	村の運営全般に使われるお金
民生費	福祉や医療等に使われるお金
衛生費	保健・環境衛生、ごみ処理等に使われるお金
土木費	道路や公園の整備・管理等に使われるお金
教育費	幼稚園や小中学校、社会教育等に使われるお金
公債費	村債の元金や利子の償還に使われるお金
上記以外	議会・農林水産業・商工・消防等に使われるお金

※1…軽自動車税、村たばこ税
 ※2…地方交付税、分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入
 ※3…災害復旧費、諸支出金、予備費

1. 令和8年度予算の概要

村の1年間のお金の使い方をまとめた「令和8年度予算」が決まりました。村のお金がどのように使われるのか、その概要をお知らせします。



※総額に合わせるため、数値を一部調整している項目があります。

【問い合わせ】財政経営課財政担当(☎282-1711 内線1334)

令和8年度の予算は？

【一般会計】

当初予算 **222億円**
 対前年度比 ▲17億4,700万円(▲7.3%)

【特別会計】

72億2,671万円
 対前年度比 ▲1億6,559万円(▲2.2%)

会計名	予算額
国民健康保険事業会計	28億2,297万円
後期高齢者医療会計	7億7,930万円
介護保険事業会計	30億643万円
介護サービス事業勘定	359万円
東海駅西土地区画整理事業会計	2,427万円
東海中央土地区画整理事業会計	5億8,937万円
那珂地方公平委員会会計	78万円

【企業会計】

45億9,106万円
 対前年度比 ▲2億5,633円(▲5.3%)

会計名	予算額
水道事業会計	14億3,496万円
病院事業会計	7億3,215万円
下水道事業会計	24億2,395万円

知っておきたい財政用語

- 一般会計** 村の福祉や保健衛生、道路の建設、教育・文化振興、消防・防災など、住民サービスを行うための中心的な会計
- 特別会計** 国民健康保険、介護保険、区画整理など、一般会計と区別が必要な会計
- 企業会計** 上下水道や病院、利用料金などによる収入で運営している会計

令和8年度実施予定の主な大規模工事

- ✓ 防災行政無線放送設備整備工事……………2億587万円
- ✓ 雨水排水整備工事(1号根崎緑地調整池整備工事)……………1億7,237万円
- ✓ 総合体育館空調・換気設備設置工事……………1億2,134万円
- ✓ 合葬式墓地整備工事……………1億1,056万円



今月の表紙



4月、新生活の始まり——。待ちに待った小学校生活を迎える新1年生たちは、たくさんの期待や希望に満ちあふれています。皆さんも気持ちを新たに、新年度をスタートさせませんか。

3. 令和8年度の主な施策

「まちづくりの羅針盤」に基づき、令和8年度当初予算に計上した主な事業・取り組みを紹介します。

アイヴィルシェアキッチンのオープン



東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」の好立地を最大限に生かし、「新メニューを試してみたい」「飲食店等の開業を目指したい」などの想いを持つ方の起業・創業を支援するとともに、駅前新たなにぎわいを創出します。

若い世代の移住・定住の促進とふるさと意識の醸成



若い世代の転入やUターン促進を図るため、引き続き、新婚世帯に対する引っ越し・住環境整備費用を支援する「住みいる応援補助金」や、「いいムラをつくろう同窓会開催支援補助金」を交付します。

①

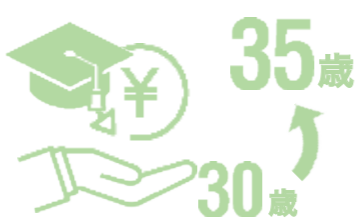
人口減少対策

5歳児健康診査の新設



就学前に子どもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣や育児に関する指導を行うなど、就学に向けた準備を支援します。

奨学金返還支援補助金の拡充



奨学金を返還しながら働く若者の経済的負担の軽減と、医療・介護・福祉分野の人材確保・定着のために交付する補助金の年齢要件を35歳までに引き上げます。

こども・わかもの応援給付金の拡充



小中学生・高校生年代の学びや挑戦を支援するために1人あたり6万円を支給する給付金を拡充し、寮生活などで子どものみ村外に住所がある方へも支給します。

デマンドタクシーへのキャッシュレス決済の導入



デマンドタクシー「あいのりくん」のさらなる利便性向上の取り組みとして、キャッシュレス決済システムなどを導入します。

石神地区活性化の推進

国道6号の拡幅を石神地区の活性化につなげていくため、東海スマートICの大型車対応化や土地利用の規制緩和など、一体的な整備に向けた調査・検討をします。



②

新たな基盤整備

村松地区活性化の推進

国道245号の4車線化などを村松地区の活性化につなげていくため、阿漕ヶ浦周辺やJ-PAＲC周辺の道路整備を進めます。



2. まちづくりの基盤となる4つの重点施策

令和7年度からスタートした「まちづくりの羅針盤」に掲げた柱を着実に推進しつつ、分野横断的な連携を図りながら重点施策に全庁一丸となって取り組みます。

② 先端技術・高度人材が集まる村の次の時代の産業と雇用を育てる産業振興ビジョンのさらなる推進

- ◇日本原子力研究開発機構の中小施設の廃止措置で見込まれる多額の需要を地域の産業振興につなげられるよう、基幹産業と中小企業の連携強化に取り組みます。
- ◇豊富な技術シーズ・研究シーズを産業化につなげるため、事業化支援や実証フィールドの提供などの総合的な支援体制の整備に必要な「スタートアップ支援施策基本計画」を策定し、「アカデミア発スタートアップ起業の創出」に取り組みます。

① 地域の未来を創るには若者の参画が不可欠 こども・わかもの政策のさらなる推進

- ◇オンライン・匿名の特性を生かし、子ども・若者の率直な想いを聞く「むらのみらいぼすと」の運営や、フレンドシップ協定に基づく県立東海高等学校との連携を継続します。
- ◇「こども・わかもの政策」を推進する上で重要な「拠点」「組織」のあり方や、ユースワーカーの配置など、今後の方向性を取りまとめます。
- ◇子どもたちの意見を聞きながら、小中学生の「居場所」づくりの取り組みを進めます。

④ 安全を何よりも優先して慎重かつ丁寧な対応を続けていく

原子力政策

- ◇東海第二発電所で頻発した火災は再発防止対策が講じられているものの、その取り組みが真に実効性のあるものとなるよう、安全管理の徹底を求めています。
- ◇原子力災害が発生した際に住民防護措置を確実に実施するためには、初動が肝心です。パンフレットや防災講習会などで周知してきましたが、避難行動を実際に体験することがより効果的かつ重要であることから、広域避難訓練を実施します。

③ 暮らしに寄り添い、生活の質の向上と安心して暮らせる地域をつくる

生活者に寄り添った支援体制の強化

- ◇高齢化の進展や生活スタイルの多様化により、「防犯対策」や「空き家の管理」、「消費生活に関する相談」など、日常生活に密接に関わる課題が増加しています。
- ◇村民の暮らしに寄り添い、これらの課題に対応することが重要であることから、「くらしの安全課」を新設し、生活者の目線に立った施策を包括的かつ一体的に推進していきます。

人口ビジョン
総合戦略



まちづくりの
羅針盤



実施計画



施政方針



生産性向上に向けた執務エリア改革



庁舎の利便性や業務生産性を向上させるため、オフィスのレイアウトを再構築し、執務エリアの改修に取り組みます。

住民サービスのデジタル化



オンラインでの公共施設予約システムの導入や、窓口での来客受け付けのデジタル化に取り組みます。

住民サービス向上に向けた窓口改革



「待たない」「迷わない」「書かない」「回らない」「行かない」「快適で居心地が良い」窓口の実現に向け、窓口エリアの整備に取り組みます。

③ D X の 推 進

雨水浸水被害対策の推進



台風やゲリラ豪雨などによる浸水被害を軽減するため、引き続き、調整池の整備や浸水センサーの設置などを進めていきます。

防災拠点施設への非常用発電機の設置



基幹避難所となっている各コミュニティセンターの災害対策機能を高めるため、非常用発電機の設置の準備を進めていきます。

防災行政無線放送設備のデジタル化



情報伝達の正確性や迅速性を向上させるため、防災行政無線放送設備のデジタル化工事を実施し、通信環境の強化を図ります。

④ 安全・安心の確保

須和間霊園への合葬式墓地の整備

少子高齢化、核家族化などによる村民の墓地形式への意識・ニーズの変化を踏まえ、須和間霊園へ合葬式墓地を整備します。



生活者支援の取り組み

高齢者向け買い物ツアーの実施

高齢者が外出したり、交流したりする機会を増やすことで介護の予防につなげるため、買い物支援ツアーの実証事業に取り組みます。



村発足70周年記念誌の発行

令和6年から実施してきた村発足70周年記念のラストイヤーとして、70年の歴史を取りまとめた記念誌を作成し、事業を締めくくります。



農地の再圃場整備などの促進

基本構想の策定や土地改良事業の将来設計等を検討する研究会の立ち上げなど、水田の再圃場整備に向けた取り組みを促進します。



分野別計画の重点的取り組み